

福大と共同研究 開始報告で来社

進盟ルーム社長ら

調庄ルームを開発した進盟ルーム(いわき市)の川上陽介社長と製造元の共和建商(白河市)の増子公夫会長は十九日、調庄ルームを活用した福島大との共同研究開始あいさつのため福島民報社を訪れた。

調庄ルームは気圧を下げた元の状態に戻すことを繰り返し気圧が常に変動している状態をつくる。国内外で特許や商標登録を得ている。共同研究は、同大と進盟ルームが気圧が絶えず間なく変化する状態が身体に与える影響

を調べ、スポーツの競技力向上につながるメカニズムを解明する。進盟ルームが福島大に機材や研究データなどを提供している。

川上社長と増子会長は「福島大と協力し、スポーツ競技力の向上に貢献したい」と語った。

調庄ルームに関する問い合わせは進盟ルーム 電話0246(29)70856へ。



川上(左)、増子両氏